

日本蓄音器商會とその時代の国内外の主なできごと

年		会社沿革	主なできごと	
西暦	和暦	(明治後期・大正・昭和戦前期)	(日本)	(世界)
1907	明治40	F.W.ホーンにより、現在の川崎市に日米蓄音器製造(株) が設立され、国産の蓄音器と音盤の開発を始める。	東京株式市場大暴落。赤旗事件	ハーグ密使事件
1908	明治41	工場建設に着手。	新聞紙法公布。伊藤博文暗殺事件（1909）	初のブラジル移民が出港
1910	明治43	10月1日(株)日本蓄音器商会（以下「日蓄」）がに創立。	大逆事件検挙始まる。	韓国併合
1911	明治44	国産第1号の円盤レコードを市場に送り出す。	日米通商航海条約改正調印（関税自主権確立）	辛亥革命
1912	明治45	日米蓄音機製造(株) (明治40年設立の国内最初のレコード会社)を吸収合併。	第2次西園寺公望内閣総辞職。 大正に改元	ストックホルムオリンピックに初出場。 中華民国が成立し清朝が滅ぶ
1914	大正3	松井須磨子の「カチューシャの唄」(オリエント・レコード)が全国に流行。	日本がドイツに宣戦布告	オーストリアがセルビアに宣戦布告。 第1次世界大戦勃発
1915	大正4		中国に21ヵ条の要求を提示	
1916	大正5	子供向けの「モモタロー・レコード」と「モモタロー蓄音器」発売。	寺内正毅内閣成立	ロシアでソビエト政権成立(10月革命)
1917				アメリカが第1次世界大戦に参戦
1918	大正7		米騒動	第1次世界大戦終結
			関東大震災（1923）	株価大暴落、恐慌始まる（1920） 、 ワシントン会議開催（1921） ドイツで大インフレーション（1923）
1927	昭和2	英国コロムビアと資本提携しコロムビアレコードの発売を開始	立憲民政党結成	
		国内プレスによるコロムビア洋楽レコード(黒盤)を発売。		
		イーグル蓄音器を発売。		
1928	昭和3	日蓄の傍系として日本コロムビア蓄音器（株）を設立。	第16回総選挙（初の男子普通選挙）	張作霖爆殺事件
1930	昭和5		統帥権干犯問題起こる	ロンドン海軍軍縮会議開催
1931	昭和6	コロムビア商標を米国コロムビアから譲り受け、すべてのレコードのマークを現在の音符のコロムビア・マークに統一。		柳条湖事件（満洲事変勃発）
		東洋一のコロムビア・マークのネオン塔が川崎工場屋上に完成		
		※日蓄は大正10～12年に傘下に収めた3社（帝国蓄音器、三光堂、東京蓄音器）を大正14年に合併して合同蓄音器とする。なお、時期に「ヒコークイ印」等レーベル名に印が付く。		
1932	昭和7		5.15事件	満州国建国
1933	昭和8		日本、国際連盟脱退を通告	
1934	昭和9	パーロホンを吸収したのちコロムビア、リーガルのレーベルでその一部を再発売をする。		
			2.26事件（1936）	盧溝橋事件（日中戦争勃発）（1937）